

第十一回福崎町柳田國男ふるさと賞 中学生の部受賞

福崎町の地形と地名

福崎東中学校二年 田畑

駿



一、はじめに

小学生の時、田原地区の小字の研究を通して、地名はその土地の地形が由来となっていることが多いことを知りました。中二の地理の授業で、「盆地」「扇状地」など色々な地形について学び、自分の住む福崎町の地形に興味を持ちました。福崎町の地名（小字）と地形にはどのような関係があるか調べてみようと思ったことが研究のきっかけです。

二、小字について

町役場に保管されている土地台帳に記されている地名のうち、最も狭い範囲を小字と読んでいます。（一八七三年【明治六年】の地租改定以前には、現在の小字名の範囲の中より小さい区画の地名がいくらか含ま

れていたそうです。）小字名はその土地の地形、土質、植生状態、集落からの遠近、土地の利用状態、所有者、地物の有無などによって名づけられるので、小字を調べれば、その土地の昔の様子、土地と人との関わりを知る手がかりになります。



三、地名の由来

地名が名づけられる要素として、次のような五大要素があります。

① 地形地勢

地名の由来として最も多いのは、その土地の地形や地勢（土地のありさま、状態）を表す言葉です。古くからある地名は音（読み）が先にあり、平安時代以降に漢字で表記する方式で記録されるようになりました。あとから字をあてたため、同じ音読み

でも文字が違う地名が全国にたくさんあります。山、川、野原、坂、谷（沢）、海岸、岬の七種類の地形にちなんで名付けられることが多かったそうです。

② 象徴的なもの

その土地にある象徴的なものが地名になることがあります。例えば「○○岩」「○○橋」「○○城」「○○寺」などです。ただし、由来になったものが失われたり、場所が移動したりして今はその土地が、存在しないこともあります。

福崎町の小字の中にも「北山城」「山城」といった今は存在しない城に関するものがあります。

③ 人名

その場所に屋敷があったり立ち寄った著名人の名前が由来となります。地方では豪族や大地主の名前がそのまま地名になっていることも多くあります。

④ 合成地名

複数の地域や村を合併するときにそれぞれの地域から文字を取り、新たに地名になることがあります。「福崎町」は「福田」と「山崎」からそれぞれ一文字を取って作られた合成地名です。

⑤ 新しい地名

新たに開拓が行われたり、市町村

合併などにより、全く新しい地名が付けられるケースがあります。元々の地名とはまったく違うイメージの良い名前をつけることがあります。

四、福崎町の地名と地形

福崎町の地名と地形について次のことを調べました。

・福崎町の地名のうち、地形や地勢が由来となっているものはどのようなものがどれくらいあるか？地形・地勢がもたらした地名と実際の地形を比較するとどういう関係があるか？

◆調査の手順

- ① 地形・地勢が由来の地名にはどんなものがあるか調べる。
 - ② 福崎町内の小字を一覧にする（福崎町史の「福崎町小字図」からひろいあげる）
 - ③ それぞれの字の小字の由来を考え、種類ごとに分類する。
 - ④ 小字が示す地形の種類ごとに色分けした地図を作る。
 - ⑤ ④で作った地図と地形を示した地図（国土地理院）を比較する。
- ◆調査の結果
- ① 地形地勢が由来の地名にはどのようなものがあるか、調べた結果をまとめたものが次の表です。

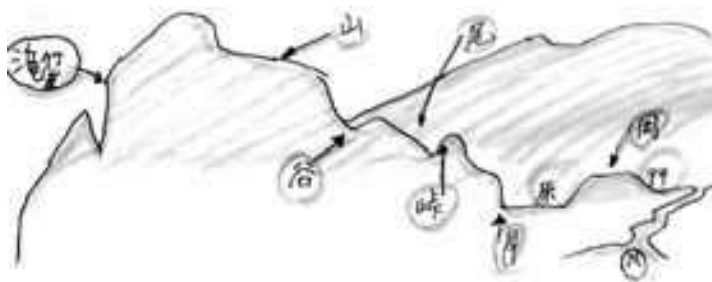
算ソフトを使って作りまし
それが次の表です。パソコンの表計
大字ごとに地名を集計しました。

地名	どのような土地か
山	山間部
滝竹嶽崖	タキ(滝)がタケ(竹)タカ(高、鷹たか)になっているところもある
尾	山の裾の伸びた所
谷	「谷」とは山と山の間の地形のこと。隣り合う土地より低い場所であり、川が流れていた痕跡と見る場合も。現在も低地で雨が降ると冠水してしまうなど、水害にあいやすいエリアかもしれません。
岡	オカはオ(表・峰)・コ(処)の転で少し高くなって目立つ平らなところを表す。
峠	「とうげ」の語源は尾根の鞍部になっている「たわ(挽)んだところ」を越えていく場所だから「かわごえ」となり、「とうごえ」そして「とうげ」となった。
岸	海岸線だけでなく、大きな地形の端を意味する。地形の変わり目を意味する。山と平地の境目を岸といった。
坪	坪は平らな土地を表し、奈良時代の条理制による区画された土地の名残と考えられます。

地名	どのような土地か
野	人里ではない。草や低木が入った。開かれていない土地。
原	柳田國男によると「原は広い平野」。一方、「はら」は「はれ(開・墾)」で開拓地という考え方。
平	「田井」「台」などとされる場合もありますが、河川周辺で段上の平地である可能性があります。「ひら」が「崖・急傾斜地」である地域も多く、山間部の地滑りによって形成された緩斜面の場所に使われるケースもあるそうです。
川	
浦	海や湖、川などにそった一帯の地/きしべ/大きな川小さな支流
島	水害にあったときに島のように土地が残る微高地/川沿いの耕地/一つの集落
河原	川の流れるに沿う平地において、普段は水が流れていない砂や石の多いところ
水・池	

大字名	小字数	地形・地勢に関するもの														象徴的なもの					位置を表すもの					
		山	尾	竹・滝・嶽	谷	岡	峠	岸	坪	野	原	平	川	浦	河原	鳥	水	池	田・畑	自然物(木・植物等)		人工物(数等)(寺・屋)	場内	その他		
馬田	5	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	2	
福崎新	12	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	6	2	1	3	0	7	
高橋	20	15	4	2	2	4	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	6	1	0	5	0	9	
福田	38	10	1	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	1	1	24	8	3	8	4	16	
山崎	39	11	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	22	7	6	6	3	1	9
八千種	121	64	9	1	1	21	2	0	0	1	13	2	2	4	0	0	0	0	7	45	14	10	12	9	1	45
大貫	65	28	3	2	2	9	1	0	0	1	2	4	0	0	0	0	0	0	2	22	10	5	5	2	0	19
西田原	59	20	4	0	1	3	4	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	38	20	1	14	3	0	42
南田原	68	28	3	0	0	0	1	0	1	2	13	1	0	3	0	0	0	1	1	41	21	3	9	6	1	37
東田原	54	27	3	2	0	9	2	0	0	1	2	1	0	2	1	0	0	1	5	20	7	1	9	2	0	24
田口	25	12	2	0	0	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	5	1	5	2	1	5	
高岡	100	46	10	2	2	17	2	1	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0	4	45	11	10	18	6	2	39
西治	81	42	4	1	0	24	1	1	0	2	3	2	1	1	0	2	0	0	2	25	15	2	10	1	0	32
合計	687	310	46	10	10	96	14	4	4	8	42	13	5	15	3	3	1	5	22	310	121	44	105	39	8	286

大字名	小字数	地形・地勢に関するもの														象徴的なもの					位置を表すもの					
		山	尾	竹・滝・嶽	谷	岡	峠	岸	坪	野	原	平	川	浦	河原	鳥	水	池	田・畑	自然物(木・植物等)		人工物(数等)(寺・屋)	場内	その他		
馬田	5	40%	20%	20%															40%		20%	20%	20%		40%	
福崎新	12	42%									8%	8%							50%	17%	8%	25%			58%	
高橋	20	75%	20%	10%	10%	20%					10%		10%						30%	5%	5%	25%			45%	
福田	38	26%	3%		3%	3%					3%								63%	21%	8%	21%	11%	5%	42%	
山崎	39	28%	5%			5%					5%								56%	18%	15%	15%	8%	3%	23%	
八千種	121	53%	7%	1%	1%	17%	2%				1%	11%	2%	2%					37%	12%	8%	10%	7%	1%	37%	
大貫	65	43%	5%	3%	3%	14%	2%				2%	3%	6%						3%	34%	15%	8%	8%	3%	29%	
西田原	59	34%	7%		2%	5%	7%				3%	19%	1%						64%	34%	2%	24%	5%		71%	
南田原	68	41%	4%				1%				1%	3%	19%	1%					60%	31%	4%	13%	9%	1%	54%	
東田原	54	50%	6%	4%		17%	4%				2%	4%	2%						37%	13%	2%	17%	4%		44%	
田口	25	48%	8%			24%	4%	8%											56%	20%	4%	20%	8%	4%	20%	
高岡	100	46%	10%	2%	2%	17%	2%	1%	1%	1%	0%	2%							4%	45%	11%	10%	18%	6%	2	39%
西治	81	52%	5%	1%		30%	1%	1%			2%	4%	2%	1%	1%				2%	31%	19%	2%	12%	1%		40%
合計	687	45%	7%	1%	1%	14%	2%	1%	1%	1%	6%	2%	1%	2%					45%	18%	6%	15%	6%	1%	42%	



- 分かったこと
- ・小字八千種最多(数)
 - ・一番多く使われている地名は「谷」。
 - ・その次に多いのは「山」、その次は「野」
 - ・「地形に関する地名」と「象徴的なものを表す地名」は同じくらいの割合だった。
 - ・一つの地名でも複数の地形を表す場合がある。
 - ・山に関する地名は高岡と高橋に多い。
 - ・川や水に関する地名は福崎新に多い。

五、地名が示す自然災害の危険性

地名の由来について調べていく中で、地名にはそれぞれの地域の歴史を反映しており、その中には過去にあった災害について反映しているものもあることが分かりました。例えば地名に「桜」「梅」「椿」とついていると、花が咲いていてきれいな場所のように思えますが、実際には災害の危険性を示している可能性があります。

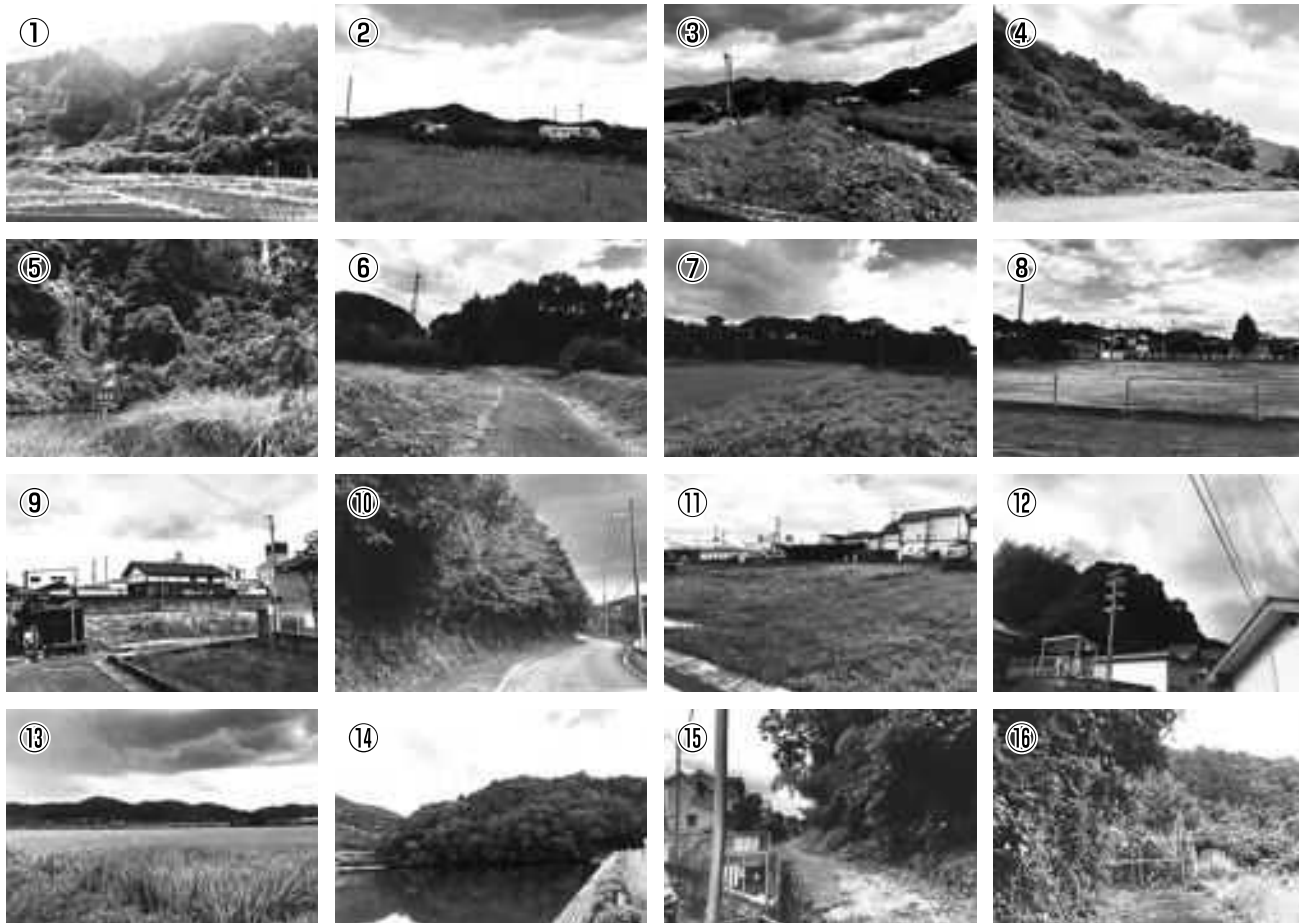
「桜」は『裂ける』に通じ、土砂災害の危険性がある。山間部では主に豪雨でくずれやすい土地の場合がある。「梅」は『ウメル(埋)』に由来して埋立地に使われる。「椿」は切り取るという意味の『ツバエル』を由来にして崩壊地形の地名になっていたりする。地名には過去に災害があった人の「ここは危ない」というメッセージが込められているものだと思います。

液状化	鮎・梅・馬・鳥など	水害	釜・女・駒・滝・袋・龍・竜・灘・猿・黒・江など
土砂崩れ	蛇・猿・柿・栗・椿・桜・萩・小豆・倉・牛・板など		

NO	大字名	小字名	区域	感じたこと
①	高岡	蛇々谷	土砂災害警戒区域(土石流)	近くに神戸医療未来大学が建っており、昔とは地形が変わっていると思う。土がむき出しの部分があり、危険。
②	福田	焼小豆	土砂災害警戒区域(土石流)	「小豆」は「土砂災害のある所」で「崖崩れなどが起こりやすい地に多い地名」だそうです。現地は川の横でした。
③	高岡	桜元	家屋倒壊(川岸浸食)	「焼小豆」の川をはさんだ反対側でした。
④	西治	堀越	土砂災害警戒区域(土石流)	道路の両側がくぼんでいました。
⑤	西治	芦谷	土砂災害警戒区域(土石流)	「芦」は「悪し(アシ)」が由来のこともある。近くに芦谷池があり、でこぼこした感じ
⑥	高橋	飛越		「越」は洪水などで「越えてきた」ということが由来の場合がある。香寺町に続く山道があったので村と村を越えるという意味？
⑦	南田原	中蔵ノ北	洪水浸水想定区域(50cm)	「蔵や倉」(クラ)は「挟る」(えぐる)に由来。現地は幼稚園のある場所で危険はなさそう。建物の蔵があったのかも。
⑧	南田原	ハツグロ	洪水浸水想定区域(50cm)	
⑨	西田原	蔵垣内	洪水浸水想定区域(50cm)	ふつうの住宅地
⑩	西田原	樋越	洪水浸水想定区域(50cm)	ふつうの住宅地
⑪	東田原	倉谷口	土砂災害警戒区域(土石流)	雨が降ると土砂崩れがありそうな感じがした。
⑫	大貴	倉谷	土砂災害警戒区域(がけ崩れ)	東大貴公民館の近く。山の方まで歩いて行けなかった。
⑬	大貴	牛嶋	山腹崩壊危険地区(がけ崩れ)	
⑭	八千種	高倉	崩壊土砂危険区域(土石流)	山の高い位置にあった。
⑮	八千種	牛房谷	山腹崩壊危険区域(がけ崩れ)	春日山のもともそい、防災地図でも危険度が高い。
⑯	八千種	久保木	土砂災害特別警戒区域(がけ崩れ)	フェンスがあり立ち入り禁止でした。

※表中の位置(NO)については次ページの地図内に表示

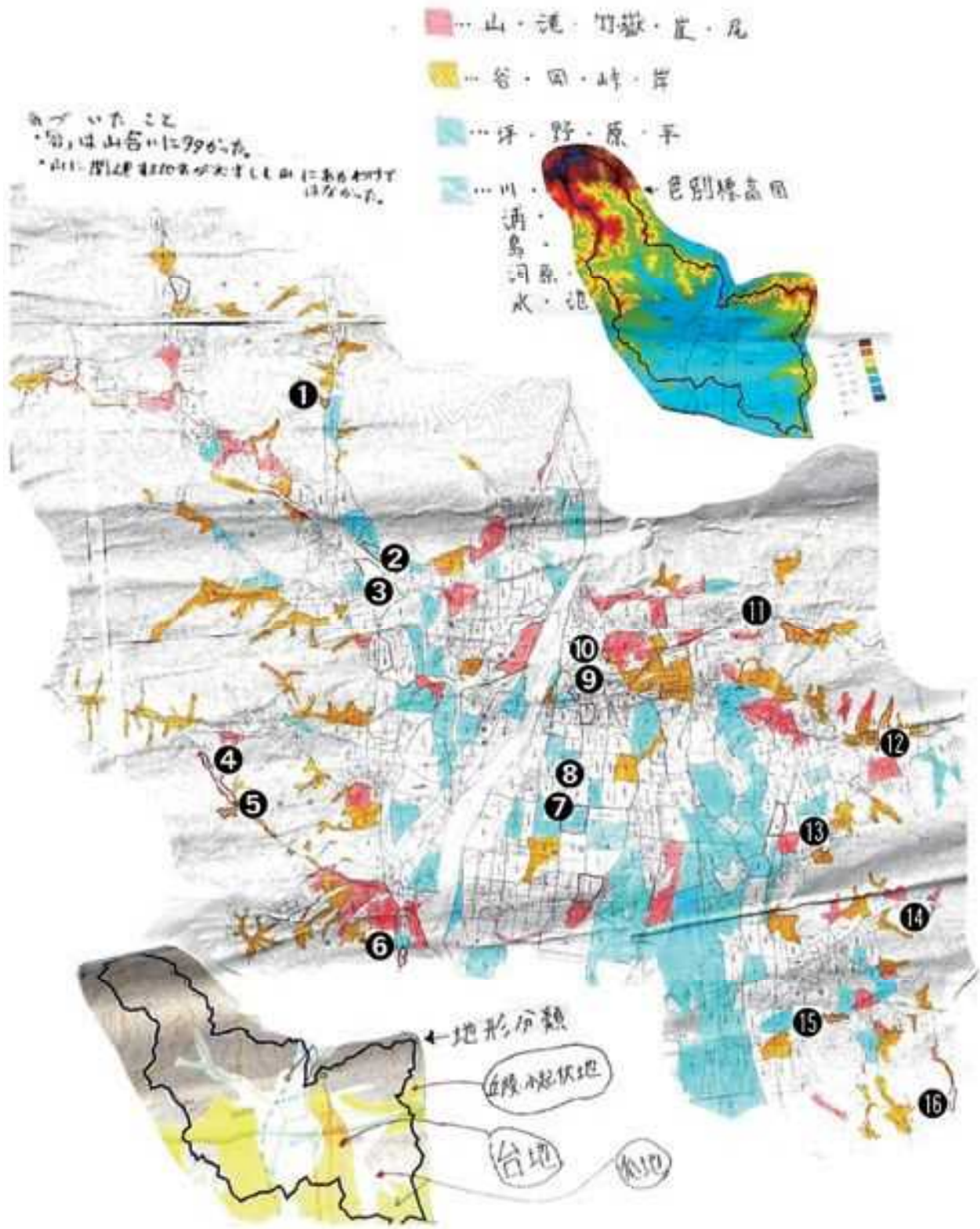
・自然災害の危険性のある地名について調べてみました。
 福崎町の小字の中にも同じものがあつたので現地調査をしました。また、実際に災害の危険性があるかどうか、福崎町防災地図で小字の場所を確認してみました。



六、地名と地形の
関係性

小字が示すと
思われる地形を
実際の地形（標
高図）と比較し
てみると完全
一致していたわ
けではないが、
大まかに見て一
致している部分
が多かった。
特に災害の危
険性の可能性が
考えられる小字
は福崎町防災地
図の危険区域と
多くが一致して
いた。地名の多
くが地形から名
付けられており、
地名は人々にと
って重要なもの
だと思う。

小字が示す地形の種類ごとに地図を色分けした。



公民館クラブ会員募集

町には住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的とした社会教育法に基づく公民館が2つあります。一つは中央公民館として文化センターがあり、もう一つは分館として八千種研修センターがあります。この両施設や地域の公民館などを利用して住民が生涯を通じて趣味や教養に自主的に取り組む多くの団体が活動されています。

現在、コーラス、吹奏楽、箏曲、詩吟、書道、舞踊、パッチワーク、パソコン、短歌、フラダンス、英会話、中国語教室、将棋、囲碁など、多数のクラブが活動され、定期的に公民館で発表されています。

各クラブは、それぞれで会員を募集しています。知識・技術を習得したい、その成果を地域へ還元したい、活動を通じて友人を増やしたい、等と思われる方は是非、挑戦してください。

また、新たにクラブを作って活動したい方も要件さえ満たせば、文化センターなどの施設を有利な条件で利用できます。是非お問い合わせください。

問い合わせ先 公民館クラブ事務局
(文化センター内)
2213755



第四十二回 福崎町美術展作品募集

第四十二回福崎町美術展(公募展)の作品を募集します。

皆様方のご応募を心よりお待ちしております。

会期 令和六年

六月七日(金)～
六月九日(日)

会場 福崎町エルデホール

主催 福崎町・福崎町教育委員会

部門 日本画・洋画・書・写真・彫
塑工芸

応募は一部門一人一点、未発表の作品に限る。
作品搬入 令和六年六月一日(土)
午前九時～午後四時

審査員

- 日本画 島田 直季
- 洋画 井上 よう子
- 書 立山 艸雪
- 写真 しみず いさを
- 彫塑・工芸 石井 宏志

山桃忌奉賛 第三十九回短歌祭作品募集

柳田國男先生と井上通泰先生の命日にちなみ、両先生を偲ぶ会として、毎年八月に柳田國男・松岡家記念館により山桃忌が行われています。

短歌祭は文化協会と福崎短歌会により、山桃忌の当日に行っています。本年の短歌祭は、左記の要領で作品を募集します。

記

日時 令和六年八月三日(土)

場所 福崎町文化センター

主催 福崎町文化協会・福崎町短歌会

作品 未発表のもの・一人二首以内

応募料 一首につき五百円

要領 原稿用紙に楷書で縦書き

宛先 福崎町文化センター内
文化協会事務局 宛
締切 令和六年六月三十日(日)

表紙の写真

《法師武者》

「三月十五日 日本画科二年 松岡輝夫」の表書きから、明治33年に東京美術学校時代の映丘が描いた作品であることが分かります。

映丘が好んで題材に選んだ『平家物語』では、白河法皇を悩ませるものとして、「賀茂川の水、双六の賽、山法師」を挙げています。寺院に属しながら立派な甲冑や太刀で武装した法師の姿を描いた作品です。



編集後記

たくさんの方々のご協力により福崎町文化第四〇号を発刊することができました。寄稿いただいた皆様、校正等にご協力いただいた皆様、厚くお礼申し上げます。